

厚生病院だより

# ほほえみ

広報誌

第81号

2022 7. 1

## Topics

- 診療科紹介  
[ 皮膚科 ]
- リハビリテーション技術科紹介  
「ドライブシミュレーターの紹介」
- 患者さん呼び出し方法の変更について
- 市民公開講演



PHOTO : 当院職員

基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170  
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



診 療 科 の 紹 介

# 皮膚科

Dermatology

副院長兼皮膚科診療部長 おかだ 岡田 かつゆき 克之



## 夏に気になる、皮膚のこと



今年の夏は暑くなるでしょうか。この原稿を書いている時、関東地方はちょうど梅雨入りしました。日本気象協会によれば、早い梅雨明け、その後は猛暑という予測です。皮膚科の領域はとても幅広く、季節ごとの特徴もあります。夏に気になる皮膚病をいくつかお話ししましょう。



## 夏の危険な生き物

生活の中で、さまざまな昆虫や小動物にやられます。夏場は蜂に注意！蜂の活動が高まるとともに、薄着の季節ですので刺されやすいのです。特にスズメバチは強いアレルギー反応で命に関わることもあります。アナフィラキシーショックは刺されて10～15分ほどで血圧が急降下して動けなくなります。明らかなアレルギーのある方は、病院到着まで血圧を保つためのエピペンを携帯するとよいでしょう。当院でも処方できますので、アレルギー検査を含め、ぜひご相談ください。



あと危険なのがマムシです。アレルギーではなく蛇の「毒」によって、咬まれると出血を伴ってどんどん腫れてきます。スズメバチもマムシも、全国的には死亡例もありますので気をつけなくてはなりません。当院では蛇毒を中和する血清を常備しており、入院のうえ治療を行っております。しかし何より蛇に咬まれないことが第一です。自然豊かな場所では、衣服などで皮膚の露出に注意しましょう。

## アレルギー性皮膚炎 (AD : atopic dermatitis)

ADは季節による波があります。冬は皮膚が乾いて悪くなりますが、夏はどうでしょう。よく汗をかくとかゆくなると言われますが、これは汗が刺激になるのではなく、汗が皮膚にこもるとかゆみを起こす物質が出てくるからなのです。それをひかくと、夏場は伝染性膿痂疹(とびひ)になることもあります。当院では標準的なAD治療に加えて、より新しい薬(右表参照)を導入しています。ADの治療に精通した医師の下で投与すると定められており、症状に応じて幅広く選択できます。治療費は高くなってしまいますが、従来の治療で良くならない場合、考えてみてはいかがでしょうか。

### 新しいアレルギー性皮膚炎の薬

生物学的製剤	デュピクセント®※ ミチーガ® (発売予定)	注射薬
JAK阻害薬	オルミエント®※ リンヴォック®※ サイバインコ®	内服薬
	コレクチム®軟膏※	外用薬
PDE4阻害薬	モイゼルト®軟膏	外用薬

※当院採用品

## 多汗症

汗は体温を調節する重要な働きを担っていますが、時に多く出すぎて困ることがあります。手足の掌蹠多汗症、脇の下の腋窩多汗症、これらは生活の質に大きな影響を与えるでしょう。腋窩多汗症は俗に「わき汗」と呼ばれて、ちょっとした温度変化や精神的緊張によって衣服にしみるほどの汗が出てしまいます。今は手軽な塗り薬でこの過剰な発汗を抑えることができますので、悩まれている方はぜひご相談ください。

## 水虫 (みずむし)

水虫は、皮膚や爪に白癬菌というカビの一種がついて発症します。足指の間や足の裏の皮がむけたり水ぶくれができたり、必ずしもかゆくないので注意です。爪は皮膚と成分が同じですので、爪にも水虫が起きます。皮膚は主にクリームを使いますが、爪には専用の液剤や内服薬が必要です。飲み薬は不安があるかもしれませんが、副作用のチェックをしながら投与すれば治療効果に期待できますので検討してみてください。

## 患者さん呼び出し方法の変更について

### 7月より外来診察時の呼び出し方法が 名前から番号に変わります！

当院では、個人情報保護とプライバシーの観点から外来診察時には患者さんを番号でお呼びすることに致しました。

患者さんが安心して、気持ちよく受診していただくための取り組みの一つです。

～ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます～





## ドライブシミュレーターの紹介 自動車運転評価、再開支援の取り組み

当院では、平成30年度よりドライブシミュレーター（Honda セーフティナビ）を導入しております。ドライブシミュレーターとは疑似的なハンドル、アクセル、ブレーキ、3画面の映像モニターを用いて、よりリアルな運転環境が体験でき、運転機器（ハンドル・アクセル・ブレーキ等）の操作能力、運転に必要な注意力、判断力、総合的な運転能力の評価や、練習ができるものです。運転ソフトとしては、反応の速さと正確さの検査や、市街地などの路上コースを走行するものがあり、患者さんと一緒に運転の特性や注意点の指導・確認、運転適性の評価が可能です。セラピストが患者さんに必要な内容を選択し、評価や練習を実施しています。

現在、入院した脳卒中患者さんを対象に、自動車運転評価や運転再開に向けた支援を実施しております。運転評価では、認知・高次脳機能面を評価するために神経心理学検査の実施や、運動マヒなど身体機能障害が残存する場合はドライブシミュレーターを用いて運転適性能力があるか評価を実施しています。また、運転再開見込みがある場合には支援としてドライブシミュレーターを用いて運転再開にむけたリハビリも実施しています。



●反応速度をみる検査



●ドライブシミュレーター



●市街地コースの走行

なぜ、これらの評価や取り組みが必要なのでしょう？脳卒中などの脳血管障害を発症すると、運動・感覚マヒ、眼球運動・視野障害などの身体症状だけでなく、高次脳機能障害（注意障害、記憶障害、遂行機能障害、失語症など）といった目に見えない症状が現れる場合があり、運転に悪影響を及ぼすことがあります。また、道路交通法より、自動車運転免許をお持ちの方が、一定の病気（脳卒中、認知症など）を発症し運転再開をご希望される場合、運転免許センターで、自動車等の安全な運転に支障があるかどうかについて適性相談、適性検査を行い判断することが求められています。そのため、医療機関での認知・高次脳検査や自動車運転評価が必要となります。

認知機能低下や半盲などの視野障害、高次脳機能障害（注意障害、半側空間無視、重度失語症など）を認める場合は運転再開が難しい場合がございます。運転再開につきましては、検査結果を元に医師の許可と運転免許センターにて運転適性検査で合格をしてからお願いしております。



# 桐生厚生総合病院 第25回 市民公開講演 桐生・みどり 合同シンポジウム

日時  
場所

2022年

8月20日(土)  
14:00~18:00 開場13:30

桐生市市民文化会館  
スカイホール  
Web配信 (Zoom)  
詳細はQRコードから



〈第1部〉

市民公開  
講演

14:00~16:00

## 正しく知ろう！乳がんのこと

～乳がん専門医・放射線科医・認定看護師がお答えします～

司会 曲澤 聡

副院長兼地域医療連携室長

講師



森下 亜希子

乳腺外科部長



村松 博之

放射線科部長



西場 里香

がん化学療法認定看護師



塩谷 智恵

乳がん看護認定看護師

〈第2部〉

シンポジウム

16:30~18:00

(敬称略)

基調講演

「地域医療と当院の現状と課題」

桐生厚生総合病院 院長  
加藤 広行

シンポジウム

「病院の将来を市民とともに考える」 座長 高橋 満弘

院長補佐兼副院長

シンポジスト



荒木 恵司

桐生市長

桐生厚生総合病院 管理者



須藤 昭男

みどり市長

桐生厚生総合病院 副管理者



加藤 広行

桐生厚生総合病院 院長



菊地 一真

桐生市医師会 会長

新宿医院 院長

主催 桐生厚生総合病院 (令和4年度がん診療連携拠点病院機能強化事業)

後援 桐生市医師会/桐生市薬剤師会

[お問合わせ先] TEL 0277-44-7150 (地域医療連携室)

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)

参加費無料・申込不要

[お知らせ]

お席に限りがありますので、ご了承ください。  
ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。